



天瀬

Amagase



元気な案山子がお出迎え

9月25日～10月28日まで、本城大橋から坊籠集会所に至る合楽川周辺で、本城1生産組合主催の「第12回彼岸花と本城案山子祭り」が行われた。初日には、福岡県大刀洗町の本郷地域づくり委員のメンバー20人が、視察に訪れた。抽選で特産品が当たる案山子の人気投票も行われ、200体のユニークな案山子が訪れた人を楽しませた。



別府大学生からの贈り物

9月4日、別府大学でデザインやアニメーションなどを学ぶ学生が天瀬公民館を訪れた。平成25年度から続いている大学生と住民との交流を形に残そうと、公民館のガラス戸をキャンパスに、6時間かけて、天ヶ瀬温泉とその中心を流れる玖珠川をイメージしながら、アクリル絵の具で色鮮やかに、水面とバラやヤマメの絵を描き記念に残した。

上津江

Kamitsue



いつまでもお元気で

10月5日、白草地区の公民館で白草地区敬老会が開催された。台風で中止となった敬老会を、とても楽しみにしていたお年寄りのために、白草地区の有志が集まり開催され、敬老会には多くのお年寄りが集まった。この日は、手作りの料理など地区の人たちのおもてなしや出しもので、公民館は笑いに包まれるなど参加者は楽しい一日を過ごしていた。



一生懸命頑張りました！

9月30日、すぎっ子子ども園運動会が開催された。当日は天気にも恵まれ、絶好の運動会日和となった。綱引きや踊り、かけっこ等、運動会を見に来た人に日頃の練習の成果を発揮しようと、一生懸命取り組んだ。演技を行うたびに歓声が沸き上がり、とても楽しい運動会となった。



日田

Hita

TOWN TOPICS IN HITA

まちの話題



あたり前の大切さ

9月26日、パトリア日田で、バーナード・リーチと小鹿田焼展記念フォーラムが開催された。第一部では、料理研究家の土井善晴氏を講師に、家庭料理の大切さや和食の美について講演が行われた。第二部では、民藝運動を担った河井寛次郎や濱田庄司、棟方志功の孫たちにあたる研究者などを6人招きパネルディスカッションが行われた。



みんなでひたはしり号に乗ろう！

9月20日の「バスの日」にちなんだ記念イベントが9月23日、日田バスセンターで開催された。塗り絵やバルーンアートなどが催され、多くの親子連れで賑わったほか、ひたはしり号にも無料で乗車することができ、普段より多くの人々がバスに親しむ良い機会となった。運賃100円で実験運行中のひたはしり号の利用者増に繋がることが期待される。



咸宜園を世界遺産へ！

10月13日、パトリア日田で咸宜園を含む「近世日本の教育遺産群」の世界遺産登録へ向けた取組の一環として、世界遺産登録推進講演会が開催された。文化庁文化財調査官の鈴木地平氏を講師に、世界遺産の現状や事例を紹介しながら、登録に向けた取組の注意点など、自身の経験を中心に講演を行い、訪れた人は、貴重な話を直接聞ける機会となった。



世界の恒久平和を祈る

先の戦争で亡くなった市出身の戦没者を追悼する戦没者追悼式が、9月28日、パトリア日田で行われ、遺族会会員など約230人が参列した。式典では、日田市遺族会連合会会長の原田登さんが追悼の辞を述べたほか、参列者による献花が行われ、戦没者約3,000人の冥福を祈るとともに、世界の恒久平和を祈念した。